**私の医療に対する希望（人生の最終段階において）**

* 皆さんは人生の最終段階において、どのような医療を希望されますか？
* 「希望」を記しておくと、病気の影響などによりご自身が判断できなくなったり思っていることを伝えられなくなった時、主治医やご家族が治療方針を決める参考になります。
* この用紙に法的な意味合いや拘束力はありません。何度でも修正・撤回可能です。
* ぜひとも、元気なうちに「人生の最終段階」について考えてみませんか。
	+ **できれば、ご家族など身近な人たちと話し合ってみてください。**

**(いずれの質問も複数回答可能です)**

**★自分で判断ができなくなったとき、誰に相談してほしいですか**

**お名前・ご関係　　①（　　　　　　　・　　　　）②（　　　　　　　　・　　　　）**

**★どのような場所で人生の最終段階を迎えたいですか**

**□ 自宅　　□ 病院　　□ 施設　　□ その他（　　　　　　　）　□ わからない**

☆痛みや苦痛に対して、鎮痛剤(麻薬など)を使って抑えてほしいですか

□ 使ってほしい □ 使ってほしくない □ わからない

☆急変時(急に状態が悪くなった時)にどうしたいですか

□ 救急車を呼んでほしい □ 主治医に連絡してほしい □ わからない

☆心臓マッサージなどの心肺蘇生をしてほしいですか

□ してほしい □ してほしくない □ わからない

☆延命のための人工呼吸器装着を希望しますか

□ してほしい □ してほしくない □ わからない

☆食べられなくなったときに、どうしてほしいですか

□ 点滴をしてほしい □胃ろうや鼻チューブでの栄養をしてほしい

□ 自然なままで何もしてほしくない □ わからない

☆その他の希望（何でも自由に記載してください）

　　**【例：自宅でかかりつけ医と訪問看護師に最後までみてもらいたい】**

氏　名　　　　　　　　　(代筆)　　　　　　(続柄)　　　 年齢　　　　歳

記載年月日　　　　　　　年　　　月　　　日

同席者

**希望調査票各項目の説明**

1. **痛みや苦痛について**

・麻薬などの痛みどめを使用することで痛みはやわらぎます。便秘や吐き気などの

副作用が見られることがあります。

1. **急変時の救急搬送について**

・急変時に救急搬送を要請した場合、基本的には心肺蘇生処置(心臓マッサージや人工

呼吸等)が救急隊によって行われます。救急要請を行わず自然な最期を迎えることを

希望される場合は、自宅で看取ってくれるかかりつけ医が必要になります。

1. **心臓マッサージなどの心肺蘇生処置について**

・心肺蘇生処置とは、死が迫った状態で心臓マッサージ、気管内挿管(酸素を投与する

ために、口から肺の手前まで管を入れること)、人工呼吸器の装着、昇圧剤(血圧を上

げるお薬)の投与などを行うことです。

・心臓マッサージや昇圧剤の投与により心臓が再び動き出すことがあります。

・気管内挿管を行った後、医療スタッフが手動でバッグから酸素を送り込みます。その

後自身の呼吸(自発呼吸)が戻らなければ、人工呼吸器につなぐことになります。

1. **延命のための人工呼吸器装着とは**

・病状によって、人工呼吸器を装着してから亡くなるまでの期間は異なります

(数時間～年単位)。

・現在の法律では、いったん人工呼吸器を装着すると、病状が好転し自発呼吸ができる

ようになるか亡くなられるまで機械を外すことができません。

1. **鼻チューブや胃ろうによる栄養補給とは**

・鼻チューブとは、栄養剤を送るため鼻から胃まで通す細い管です。胃ろうと同じく、

定期的な交換が必要ですが、胃ろうよりも簡単な処置です。胃ろうと比較すると患者

さん自身が自分で管を抜く危険性が高いという欠点があります。

・胃ろうとは、内視鏡(胃カメラ)を使いながらおなかの表面に小さな穴をあけ、そこに

栄養補給のための管をつなぐ器具を設置したものです。使用しないときは管を外して

ふたをします。定期的な交換が必要になります。

1. **点滴による水分補給について**

・点滴で補給できるカロリーには限界がありますが、比較的太い血管に点滴の管を埋め

込んでカロリーの高い点滴(IVH)を投与するという方法もあります。点滴の管からの

感染の危険性はありますが、病状が安定していれば点滴だけでもある程度は生命維持

が可能です。